

坂市立小山小学校からいただいたご感想
* 全校親子人権講演会（2016年11月24日講演）

過日は大雪の中、遠方よりご来校いただきありがとうございました。

素晴らしい講演会に、保護者、児童から沢山の感動の声が寄せられました。

長い文章でご迷惑かと思いましたが、その一部でも熱い感謝の思いをお伝えしたく添付させていただきます。

保護者の感想（ ）内は同様の感想の人数です

- ・身の回りに沢山の危険があると知り「お手伝いしましょうか」と声を掛けてみたいと思いました。（5）
- ・最近盲導犬に興味を持っていたのでとても楽しくまた、とても勉強になりました。
- ・クイズもあって聞きやすく分かりやすかったし、子どもたちも集中していました。（10）
- ・目が見えなくても明るく生活していてまぶしいな、と思いました。自分も明るく元気に生活したいと思いました。（5）
- ・ラジオで聞いたことがあり楽しみにしていました。うまくいかないとき、どうしてかな？どうやればいいのか？と工夫して考える事は、私たちの日常でも同じ事です。障害のある方の生の声は心に響きました。
- ・実際に盲導犬を見ることができて良かったです。（3）目が見えない人は自分の頭の中で地図を思い浮かべて盲導犬に指示をだすと言う話を聞いて、知らないところでは本当に困るだろうなと感じました。今回の講演を聞いて子どもたちは思いやる心を知って身に付けて欲しいと思いました。とても良い講演でした。
- ・素敵な講演をしていただき大変良かったです。（5）
- ・広沢さんの生の声、経験を聞いて私たちにも子どもたちにも良い勉強になったと思います。（4）
- ・実際に障害のある方を目の前にしてのお話は大変心に響く物がありました。（8）
- ・私たちが想像できないような大変な生活をしていらっしゃるの

に広沢さんはとても明るく、また周囲の人たちにとっても感謝していて素晴らしい方だと思いました。また、見えないからこそ気づく世界や物事を教えていただけてとても良かったです。

・写真だけでなく言葉のアルバム、素敵だなと思いました。日記をつけているのでたまに子どもがおもしろいこと、感激したこと、心に残った事、言葉を書いています。写真よりもよく覚えています。

・親戚に事故で失明した人がいます。年をとってからの点字、職業訓練が大変そうだったのを見て覚えています。目が見えなくなってからの子育て、家事等もっともっと大変だったと思います。前向きで明るくて尊敬します。(5)

・自分にできることをして協力したいと思いました。(3)

・同じ女性として、母親としてすごいなと思いました。子育て家事等計り知れない大変さがあったと思います。(2)

・普段私たちが気づかない事、どう接したら良いかわかりました。(9)点字ブロックの重要性がよくわかりました。

・子どもたちにも学ぶ事の多い心に響く講演会でした。(7)

・視覚障害のある方の話を聞くのは初めてだったのですが、盲導犬を連れていろいろ沢山な事ができることを知りました。1人旅で北海道に行ったことはすごくびっくりしました。(2)

それは逆に、身近な事で困っていることはたくさんあるのだと感じました。何気なく過ごしている毎日ですが毎日をありがたく過ごしていきたいと感じました。

・障害とは、社会の壁ということに改めて周りが少しでも協力することで無くなる事に気づきました。(2)

周りの人次第で「いじめ」にも「同じ生活ができる」にもどちらにもなるので、自分自身でもちょっとでも気にとめていこうと思いました。目が見えないことは、少しは理解していたつもりでしたが、白杖だけでは上は分からない、自転車倒れるなど、知らなかったことを教えていただけてよかったです。

・盲導犬を見たことがない人が多くてびっくりしました。「身体障害者補助犬法」が施行されていたと知りませんでした。もっと多く広く知らせる必要があると思います。

・「障害は周りの人と協力すればなくせる」と力強く先生がおっしゃったのが印象的でした。失敗しても工夫して乗り越える事が大切だと知りました。

・今回の講演を通して子どもたちも色々な苦難を乗り越えていける勇気をもらえたと思います。

・広沢さんが話しておられた「目が見えないことは不自由だけど不幸ではない」という言葉がとても心に残りました。(3)

・一緒に協力して解決していけることが沢山あるというお話を胸に、強い心をもっていきたいと思いました。

・失敗しても「何かやり方がある」と家族がいてくれた言葉は自分も心にとめて大切にしようと思いました。

・目の見えない人が周りにいなかったのもとても勉強になりました。知らないことが沢山ありました(6)

・盲導犬の寿命が短くなると思っていましたが迷信で良かったです。

・子どもの心に響いたのか、積極的に手を挙げたり参加したりしていてとても良かったです。

・ご自身のつらい経験を、勇気を出して声に出していただき多くの方に伝えて下さったことに感謝です。

・子どもと一緒に障害者の方のお話を聞くことができ家での会話にもつながると思いました。(3)

・辛い経験も楽しそうに話して下さり、楽しかったです。勇気が出ました。私も頑張っていこうと思います。(4)

・まだまだ障害のある方への理解が十分でない社会なのだと知りました。(2)

・以前視覚障害者支援関係の仕事をしていたことがあります。障害を持って社会復帰が大変難しい中、広沢さんのような生き方ができること、尊敬します。(2)

・障害のあるなしに関係なく、助け合うことが大切だと思いました。優しい気持ち、思いやりの心を持とうと思います。(5)

・大勢の方の前でこれほど話せるようになるには沢山の苦労があ

ったと思うと涙がこぼれてしまいました。人と人との間にある壁がバリア（障害）。「まさしく！」と思いました。困っている人困っていきそうな人に配慮ができるように、またできる子に育てたいと思います。（3）

・低学年の子どもたちも聞けたらもっと良かったと思います。（2）

・健常者より、アクティブに、ポジティブでびっくりしました。感動しました。（2）

・素晴らしい笑顔で語りかけて下さった広沢さんに出会えたことに感謝します。息子さんたちの会話を書き残すこと、すてきなアイデアですね。本当に宝物ですね。私もできるはずなのにやってこなかったのが、ぜひこれからは、やってみようと思いました。里枝子さんの前向きさ、思いを伝えようとする真っ直ぐさにこころうたれました。人の心はあたたかな力を与えてくれますよね。ご家族の支え、特に「何かやり方があるはずなんだけどな...」という言葉は里枝子さんを信じてくれている言葉。私もこうやって子どもに接していきたいです。

・メリハリのありとても楽しく、時に目がうるんでしまう時もあり、とても気持ちの深い方だと思いました。

・人として大切なことを沢山感じられるお話でした。

・障害があっても工夫し合うことで、供により豊かな暮らしを作っていくことができるということが実感を持って理解できました。私自身も軽度の夜盲症です。家族、友人に助けってもらったことをいろいろ思い出しました。工夫し合う仲間の一人として行動したいと思います。

児童の感想（ごく一部ですが4～6年生の感想です）

・目が見えないのは大変なんだなと改めて思いました。ジャスミンもかわいかったです。やっぱり、声を掛け合うのは大切なんだなあと思いました。

・パートナーのジャスミンちゃんもいました。とてもかわいかったです。里枝子さんは昔、目のことでいじめられたって言うたけれど、もし、私のクラスに目や耳の不自由な人がいたら絶対にいじめたりしたくないです。目が不自由なのに、子どもも育てたり、ここまで元気に生きていて、すごいと思いました。一つしかない命を大切にしていきたいです。

・今日の講演会で私が心に残ったところは、最後に読んでもらった詩です。（詩の全部は忘れてしまったけど）とにかくすごかったのは覚えています。話を聞いていると、「目が見えないのに一人旅!？」と思いました。とってもビックリしました。盲導犬のことを本では読んだことはあるけど間近で見るのは初めてでした。盲導犬を連れてくる人を制限しているような絵をデパートなどで見たことがあります。

・目が見えないのはすごくこわいと思っていたけれど、広沢さんは笑顔で話していたのですごいと思いました。質問（の答え）では、車に足を踏まれてしまって骨折してしまったと聞いて、こわいなあとと思いました。

・目の不自由な方は、生きていくうえで大変だったりつらいことがたくさんあつたりすることを知りました。この辺では、目の不自由な人で盲導犬や杖を使って歩いている人を見たことがありません。それと不思議に思ったことは、冬に（道に）氷が張っている（凍っている）のを、盲導犬は気が付いて教えてくれるかということでした。

・「目が見えないってどんなこと」こんな単純な質問だけど、深く考えさせられるような質問でした。ぼくは、これから障害者の人たちが困っている時には声をかけるということをお願いしたいです。

・里枝子さんは目が見えなくて、2人の息子さんがいて、その話もしてくれました。私は、目の悪い人はけがもたくさんして、ニュースでは（鉄道事故などで）死んでしまうことも聞いて大変だなあと思ったけれど、悪いことばかりじゃないとも思いました。あと、4つもお仕事をしているとはすごいなあと思いました。

・私は目の不自由な人でもサッカーや野球ができることを知ってびっくりしました。もっと目の不自由な人でもできるスポーツが増えていけばいいなと思いました。あと、広沢さんは目が見えない中で子育てしたのも凄いなと思いました。写真が撮れなかったから短い文をアルバムにして私たちに読んでくれたときとても感動しました。目が見えない人は決して不幸ではないと分かりました。

。

・5年西組 矢沢優莉亜 これからは目が不自由な人が困っていたら助けてあげたいです。もし自分の目が見えなくなったら何も

かもやりたくなくなるだろうけど、

前向きに自分に自信を持って人生を歩んでいる広沢さんは、とてもすてきだと思いました。今日のお話を聞いて、みんなも私も、とても良い経験になったと思います。

・心に残ったことは、目が見えなくなっても他の人や盲導犬などと一緒に頑張れば不幸じゃない！ということです。見えないと不便かな？と思ったけど広沢さんの話を聞いたら協力すれば大丈夫ということがわかりました。

本当にありがとうございました。

これから寒い毎日が続きますがお体に気をつけて、ジャスミンと一緒にさらなるご活躍を期待しております。